



平成23年1月19日

平成22年度体力づくり優秀組織表彰について

文部科学省では地域や職場における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動（体力づくり運動）を推進し、顕著な成果をあげている組織（市町村、地域の団体、企業、健康保険組合等）を「体力づくり優秀組織」として表彰いたします。このたび、平成22年度の被表彰組織を下記のとおり決定しました。

1. 被表彰者

文部科学大臣表彰（5団体）

① 山武市（千葉県）	④ 高岡市（富山県）
② 箱根町（神奈川県）	⑤ ワールド健康保険組合（兵庫県）
③ 富士フイルム株式会社 神奈川工場（神奈川県）	

体力づくり国民会議議長賞（10団体）

① 角田市ウォーキング推進委員会（宮城県）	⑥ 日本曹達株式会社 高岡工場（富山県）
② 下仁田町食生活改善推進協議会（群馬県）	⑦ 幾久健友会（福井県）
③ 八千代市（千葉県）	⑧ 刈谷市（愛知県）
④ ヤクルト健康保険組合（東京都）	⑨ 福崎町（兵庫県）
⑤ 深オコミュニティセンター（新潟県）	⑩ 屋久島町（鹿児島県）

2. 表彰式

平成23年2月3日（木）に横浜ロイヤルパークホテルで開催する「生涯スポーツ・体力づくり全国会議2011」において表彰する。

＜担当＞スポーツ・青少年局参事官（体力づくり担当）
参事官補佐 藤原 一成（内線 2682）
健康・体力づくり係長 増田 武一郎（内線 2685）
電話：03-5253-4111（代表）
03-6734-2685（直通）

平成22年度体力づくり優秀組織表彰の概要

この表彰は、地域や職場における保健・栄養の改善及びスポーツ・レクリエーションの普及運動（体力づくり運動）を推進し、顕著な成果をあげている組織を文部科学大臣、体力づくり国民会議議長が表彰することにより、体力づくり運動の普及及び充実を図ることを目的としている。

各都道府県教育委員会等から推薦された15組織について、別添概要のとおり、本年度の被表彰組織として決定した。

1. 推薦基準

- ア 体力づくり運動を推進するための、住民（従業員）参加による組織運営が円滑に営まれていること。
- イ 体力づくりに関する実践・啓発・広報活動が積極的に行われていること。
- ウ 体力づくりを実践するクラブ等の育成が積極的に行われていること。
- エ 体力づくり関係施設の提供等が積極的に行われていること。
- オ 過去において体力づくり運動に関する功績により国の表彰を受けていないこと。
- カ 体力づくり国民会議議長賞を受賞し、受賞後原則として3年以上を経過していること。（文部科学大臣表彰のみの推薦基準）

2. 表彰式

- (1) 日時：平成23年2月3日（木）
生涯スポーツ・体力づくり全国会議2011
「オープニング・表彰式」10時～10時40分
- (2) 場所：横浜ロイヤルパークホテル（横浜市西区みなとみらい2-2-1-3）

※文部科学大臣、体力づくり国民会議議長より、表彰状及び記念品（楯）を贈る。

【参考】体力づくり運動について

昭和39年12月「国民の健康・体力増強対策について」の閣議決定に基き、健康の増進、体力の増強について国民の自覚を高めるため、推進されている運動。翌40年3月、趣旨の普及・徹底と実践的効果を高めるため、「体力づくり国民会議」が結成された。現在、8府省、227団体から構成され、事務局を文部科学省スポーツ・青少年局に置く。

平成 22 年度体力づくり優秀組織表彰受賞団体概要

文部科学大臣賞（5 団体）

【^{さんむし}山武市】（千葉県）

市民体育祭をはじめとする大きなイベントや、協議会、教室が数多く実施され、その数は 200 を超えており、市民生活の中にスポーツが浸透している。地域スポーツ活動の推進の一つとして小学校区を単位とした支部事業も行われており、子どもから高齢者の世代交流と健康増進も図られている。

保健・栄養分野では「さん・・参加しよう地域のつながり、む・・むかい合おう自分の健康」をキャッチフレーズとした「山武市健康増進計画」を健康づくりの指針としている。平成 19 年度にメタボリックシンドロームの対策の先駆的活動として、千葉県特定保健指導アウトソーシング環境整備事業の選定を受け、特定保健指導の研究に取り組んだ。

【^{はこねまち}箱根町】（神奈川県）

町制 20 周年に当たる昭和 51 年に町民の体力づくりを目的として「箱根体操」を発表、普及を進め、町立学校の授業や町内イベントの準備運動に取り入れられる町内に根付いた体操とした。また、毎月 10 日を「歩く日」と定め、箱根町歩く会主催で毎月実施するとともに、昭和 60 年度からは、「箱根路森林浴ウォーク」を開催し、今年度 26 回目を迎えた。

また、平成 16 年からは、高齢期の健康づくり（介護予防）を主な目的とした「いきいき HAKONE 体操」の作成とその普及のための普及員養成をし、普及員は箱根元気会として活動している。

【^{ふじふいるむかぶしがいしゃ}富士フィルム株式会社 ^{かながわこうじょう}神奈川工場】（神奈川県）

当該工場は、敷地内にある関連組織及びグループ会社と一体となり健康増進活動に取り組んでいる。従業員の生活習慣の改善に対する関心を高めるために平成 19 年からは「3・3（サンサン：3 kg、3 cm 減）運動」という改善目標をキャッチフレーズにした取組を開始し、肥満が連鎖的に疾患をもたらすメタボドミノについての講演会等を開催している。

また、近年は定期健康診断における有所見率の増加に歯止めをかけるために、特に 30 歳代を対象に健康セミナーを企画し生活習慣病予防活動を展開し、特定健診・特定保健

指導の対象となる 40 歳より前からメタボリックシンドロームの芽があることの啓発を行い、従業員の健康づくり意識アップの施策を継続させている。

たかおかし
【高岡市】（富山県）

高岡市は、平成 7 年に「生涯スポーツプラン」を策定し、「健康と生きがいにあふれた市民の街づくり」を進め、「心豊かで個性的なスポーツライフ」の実現に向けて、市、団体、民間が協力して各種事業を展開してきた。平成 15 年に「高岡いきいき健康プラン 21」を策定し、「栄養と食生活」「身体活動と運動」など 9 つの目標により健康づくりを推進するとともに、平成 20 年には「高岡市食育推進計画」を策定し、効果的な食育の推進に取り組んでいる。

また、市内小中学校 39 校のすべてにおいて、学校体育施設開放を行うなど、住民の運動参加機会の拡充を図るとともに、地域の指導者の連携による小学生を対象とした「土曜っ子スポーツチャレンジ」の開催や、体育施設の「小中学生土曜半日無料開放」などの取り組みも行い、スポーツ実施率や体力の向上に努めている。

わーるどけんこうほけんくみあい
【ワールド健康保険組合】（兵庫県）

（株）ワールド各事業所が個々に実施していた健康管理について、効果的に推進すべく、健保組合が中心となり平成 11 年に「健康管理事業推進委員会」を組織した。

同委員会は、事業所の健康管理委員、健保組合の保健師や事務職員などで構成され、健保組合や同委員会からの情報を被保険者等へ伝達する役割の他、毎年「健康づくり活動」の基本方針の企画・検討、活動の推進、成果の分析・評価を実施する役割を担っている。健保組合の保健師は、企画段階から活動発表まで、全体を通して健康づくり活動をサポートし、被保険者等のニーズに合わせた健康づくり活動の推進に努めている。

体力づくり国民会議議長賞（10団体）

かくだしうおーきんぐすいしんいんかい 【角田市ウォーキング推進委員会】（宮城県）

角田市が平成 15 年に実施した市民健康調査では、意識的に体を動かすなどの運動をしている人が少なく、肥満者の割合が多い実態が明らかになった。当該健康調査結果に基づき、「角田にこにこプラン行動計画」が平成 18 年 3 月に策定され、「運動量の増加」を目標に掲げ、健康づくり関係サークル等市民の有志を募り、角田市健康づくり推進サークル連絡会が設置された。ウォーキングマップの作成を行うとともに、連絡会の有志がウォーキング推進委員会を結成し、平成 19 年度からマップに掲載した 5 コースを歩く市民参加型イベントを開始した。また、「月 1 回は歩こう」を合い言葉に年 12 回のウォーキングイベントを実施し、市民の健康・体力づくり運動の普及充実に顕著な成果を上げている。

しもにたまちしょくせいかつかいぜんすいしんきょうぎかい 【下仁田町食生活改善推進協議会】（群馬県）

昭和 46 年、富岡保健所の指導のもとで、食生活の改善を行い、高血圧を中心とした成人病予防活動を行う、協議会の前身「吉崎（地区）婦人学級」が開講され、草の根活動で健康づくりを行う女性 28 名が養成された。昭和 51 年には県組織に入会し、味噌汁や漬け物の減塩活動を行うとともに、時代のニーズに合わせ、「キッチンカーによる婦人科検診時試食サービス」や「糖尿病予防教室昼食作り」「リハビリ通所者との昼食交流会」「ミニデイサービス昼食作り」「男性の料理教室」「お母さんと一緒に学ぶたべもの教室」「中学生への食育講座」等の事業を展開し、現在まで地域の状況や課題に対応した栄養改善事業（食育事業）を組織的に継続活動し、町の健康づくりに寄与している。

やちよし 【八千代市】（千葉県）

平成 16 年 3 月に健康増進計画の市町村計画として「八千代市健康まちづくりプラン」を策定し、乳幼児から高齢者までの様々なライフステージに応じ、切れ目のない支援を行っている。

健康づくりに関して「個人まかせ」「専門家まかせ」ではなく、「一人ひとりの市民、家庭の取組」「地域の取組」「行政、関係機関の取組」を明確にして取り組んでいる。

「八千代市健康まちづくりプラン」を推進するに当たり、「健やか親子」「生活習慣病予防」「いきいき高齢者」の 3 専門部会を中心に活動する中で、市民の自主的活動として「やちよ食育ネット運営委員会」「八千代市思春期保健ネットワーク会議」「八千代市歯科保健推進協議会」「やちよ元気体操応援隊」の 4 つの「個別プロジェクト」が立ち上がり、活発に活動している。

やくるとけんこうほけんくみあい
【ヤクルト健康保険組合】（東京都）

平成 20 年度から新たに始まった特定健診・保健指導に力を注ぎ、対象となる全被保険者の特定健診を事業主と共同で実施し、保健指導を充実させている。従来の保健指導に比べて、きめ細かなフォローを実施する必要があるため、保健師及び看護師の保健指導実施者を増員し、現在では約 80 名で対応している。

また、平成 13 年度から実施している健康保険組合オリジナルの健康増進活動「ヤクルト健康 21」では、食事・運動・禁煙・お酒の 4 コースから選択して、90 日間チャレンジしてもらい、60 日間以上実行できた者には「達成賞」を贈呈している。平成 21 年度では、被保険者の約 6 割（9,635 人）が参加し参加者の半数以上（5,050 人）が達成をしている事業である。

しんさいこみゆにていせんたー
【深才コミュニティセンター】（新潟県）

当該コミュニティセンターでは平成 20 年のセンター改築を機に、新施設を地域の体力・健康づくりの拠点として整備するために地域住民によるグループワークを実施、地域住民の自主的な活動の場として機能している。このグループワークによって 8 サークルが立ち上げられ、既存を含めると 30 のサークルが活動し、今年度も 2 サークルが立ち上がる予定である。また、里山登山、ゲートボール大会、野球大会、ウォーキング大会など多世代が参加できるよう、10 種類に及ぶ様々なイベントを企画しており、長岡市内のコミュニティ平均（サークル：16、イベント：6）を上回る活発な活動を行っている。

にほんそーだかぶしがいしゃ たかおかこうじょう
【日本曹達株式会社 高岡工場】（富山県）

当該工場は、平成 7 年より健康づくり活動を開始し、労働者健康保持増進サービス機関である（財）北陸予防医学協会との連携により体力測定、健診後の健康指導を実施している。また、肥満対策として社内においてウォーキングや喫煙対策等に取り組んでいる。

近年は健康日本 21「健康力 UP 大作戦」と題して健康保険組合と労働組合が一体となり自発的な健康づくりに取り組む運動をバックアップしている。また、社内のレクリエーション委員会では、体力づくりのために毎週水曜を工場内ウォーキングの日としたり、立山登山を企画するなど活発に活動している。

いくひさけんゆうかい
【幾久健友会】（福井県）

真向法体操を実践し、各自の健康の維持増進を図り、併せて真向法体操健康法の普及発展に取り組んでいる団体である。主な活動場所に学校体育館を利用しており、日々の活動を通して、教職員や学生に対し、体力づくりや健康の重要性を啓発するとともに、地域で開催される体力づくり事業やレクリエーション活動に積極的に参加し、健康法や体力づくりについての情報を提供している。

また、他にも様々な機会をみつけ、体力づくりの啓発活動を行っており、発足以来 34 年の長きにわたり地道な活動を続けており、福井市における体力づくりに関するグループ活動の先駆者となっている。

^{かりやし}
【刈谷市】（愛知県）

刈谷市では、平成 16 年度に「朝日総合スポーツクラブ」を、平成 17 年度に「依佐美スポーツクラブ」「刈谷東スポーツクラブ」を、平成 18 年度に「富士松総合スポーツクラブ」「雁が音スポーツクラブ」を、平成 19 年度「刈谷南スポーツクラブ」を設立し、あわせて 6 つの総合型地域スポーツクラブを設立するなど、計画的に総合型地域スポーツクラブを育成し、組織運営を支援するとともに、総合型地域スポーツクラブの育成を核とした健康・体力づくりの環境整備を行ってきた。クラブが企画、提供する健康・体力づくりの事業は市内各地域で継続的に展開されており、多くの市民がクラブ会員として活動に参加している。

^{ふくさきちょう}
【福崎町】（兵庫県）

平成 18 年度からすべての高齢者を対象に筋力トレーニングや閉じこもり予防等、介護予防を重視したサービスの提供を行っている。子育て世代には子育て支援センターと子育て学習センターが連携し、安心して子育てできる体制を整備している。

スポーツ・レクリエーション部門においては、平成 12 年度にはスポーツクラブ田原 21 を設立、その後、福崎、高岡、八千種、の各小学校区にも総合型地域スポーツクラブを設立し、「いつでも、どこでも、だれとでも」をモットーに活発なスポーツ活動を行っている。また、スポーツクラブをより発展させるため各 4 団体の会長、事務局長等で、福崎スポーツ連合を立ち上げ、各スポーツクラブの情報交換、及び町民向けイベントを開催し、スポーツを通じた地域コミュニティの活動拠点となっている。

^{やくしまちょう}
【屋久島町】（鹿児島県）

屋久島町は、各種イベント等の実施を通して町民の体力づくり、健康づくりを促進するとともに、意識の高揚にも積極的に取り組んでいる。

「超自然・屋久島ツーデーマーチ」は町が主催する最大のイベントで、屋久島の自然を楽しみながら歩くことにより、身体への健康づくりはもとより、自然を愛する豊かな心をはぐくむ事を目的としており、島外からも毎年多くの人々が参加している。また、町民体育祭や町内一周駅伝大会等では、町の体育協会を中心に公民館等団体との連携も密であり、円滑に運営がなされている。大会においては、町民一体となって大会を盛り上げようという風潮があり、スポーツに親しむきっかけとなっている。